



末藤省三議員

末藤 定期接種がなくなると、予防接種を義務つけた予防接種法に反するのではないのか。

健康課長

住民の方々には迷惑はかけられないので、町内の医師会、担当者会議の中で検討している。

(その他の質問)

・ 堅坑橋の地震対策への調査と安全性。

・ 堅坑橋は町の活性化につながるのか。

・ 保存についての費用負担。

・ 手話通訳派遣事業設置



手洗い・うがい



☆☆ インフルエンザは ☆  
予防が一番

カット

インフルエンザにかからないために

末藤 鳥インフルエンザ

ンザそれも毒性の強い高病原性ウィルスH5N1型が世界中に大流行の様相である。

鳥のウィルスと人のウィルス2つの遺伝子が入れかわって、新型人インフルエンザが生まれる。

アジア風邪、ホンコン風邪がそのように過去にそのような歴史がある。

新型インフルエンザに対しての認識をどのように考えているのか。

町長 鳥インフルエンザが鳥から人間に感染するかどうか、ウィルスが変容して人に感染したときには大流行になるのではととても心配している。

健康課長 鳥インフルエンザが発生している地域に重点を置き、そこから発生が広がらないような対策を国および県も考えており、それに従って志免町も行っていく。

子どもの

予防接種法が変わるが

末藤 四月から子ども

の風疹、麻疹の混合ワクチンの接種の方法が変わって住民負担はどのようになるのか。

健康課長

今まで風疹、麻疹を単品で行っていたのを混合ワクチンの形で行うようになる。



野上順子議員

野上 今までの仕事以上に保健師の仕事内容が増えていると思う。増員をする必要があるのでは。

健康課長 人口が増えたことで対象者が多くなっている。

健康づくりのために保健師の増員は必要になっていると実感している。

野上 包括支援センターに町の派遣職員として、保健師を一人回さないといけない。

今までの事業以上に保健師にかかっているが、どう思うか。

町長 健康づくりに関係ある資格をもった保健師の役割に期待が

大きくなったと認識している。

行軍の中でそれぞれの配置の見直しや、専門職の配置の仕方等も今後検討しなければいけない。

野上 公共施設の有料化や無料でおこなっていた事業へ18年度の考えは。

町長 志免町行政改革推進委員会の答申書

でも、公平性の観点から受益者負担の適正化を図るよう求められている。18年度から取り組めるものは進めたい。

野上 18年度の予算

を組んですべて決まってるから初めて住民は知

助役 条例改正に基づいて町民に知らせる。

野上 内容によっては、住民に問う部分も必要だし、住民に知らせる機会がないのか。すべてにおいて住民がとり残されている感じがするが。

助役 議会とのコンセンサスができるだけ図っていきたい。

そういう中で住民の理解を広めていくことになっていくかと思う。

子どもの居場所へのシームレイトを利用しては

野上 シームレイトの体育館に、卓球台やバスケットコートを置いてほしい。

町長 整備することは

は極端に大きな財政支出ではないと思うので検討したい。

# 18年度予算についての考えは



写真

健康増進めざして